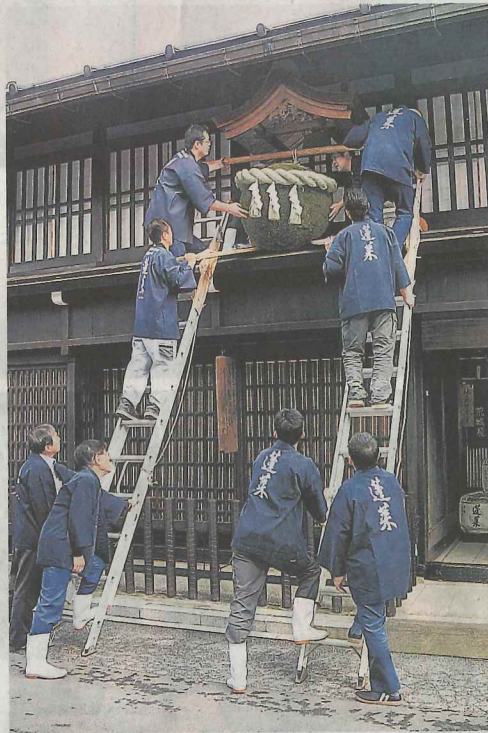


新酒到来 告げる緑

飛騨市の酒造店

飛騨市古川町老之町



新しい杉玉を軒下につるす蔵人ら＝飛騨市古川町老之町、渡辺酒造店

の渡辺酒造店で1日、新酒の初蔵出しを告げる縁起物「杉玉」の掛け替えがあり、観光客や市民が青々とした杉玉を見上げながら振る舞い酒を味わった。杉玉は直径約70センチ、重さ約80キロ。酒蔵での神事に続き、法被姿の蔵人らが、はしごに登って茶色に変色した軒

下の古い杉玉を外し、真新しい緑色の杉玉を取り付けた。

新酒は9月下旬に仕込んだ吟醸生原酒「蓬萊新酒しぼりたて」で、神事後、観光客らに振る舞われた。

渡辺久憲社長(47)は「酒米のヒタホマレの出来が良く、今年は当たり年。やや甘口で、みずみずしいソフトな味に仕上がった」と話した。

同店では、来年5月まで仕込みを続け、一升瓶換算で約60万本を生産する。(古信博史)